

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	広島県	市町村名	三原市	大学名	
派遣日	令和 3年 7月 15日(木曜日) 9:10~12:05 9:10~ 9:15 開会行事 9:15~ 9:35 授業のポイント・各校の実践及び課題について 9:40~10:30 授業参観 10:35~12:00 「外国人児童生徒等教育の実際について」 12:00~12:05 閉会行事				
実施方法	派遣 / 遠隔				
派遣場所	三原市立第三中学校 〒723-0016 三原市宮沖3丁目15-2 0848-62-3213				
アドバイザー氏名	京都市教育委員会指導部学校指導課 副主任指導主事 大菅 佐妃子 様				
相談者	三原市教育委員会 日本語指導加配を担う教諭				
相談内容	<p>現在、三原市では、外国籍の児童生徒の急速な増加に伴い、日本語指導のニーズが高まっており、市内の小・中学校30校の内14校に日本語指導教室を設置している。</p> <p>また、今年度は常勤の日本語指導加配の教諭を県教委に2名措置いただき、それ以外の学校では、非常勤講師を配置して、外国籍の児童生徒への日本語指導の機会を確保するなど、人的措置を進めているところである。</p> <p>しかしながら、外国籍の児童生徒の増加に伴う急速な変化に追いついていないのが実情である。日本語指導の目標、実態把握の方法、指導内容の整理、指導方法の充実など基本的な点から課題を抱えている。</p> <p>そこで、今後も増えることが予想される外国籍の児童生徒への具体的な指導方法等について、専門家の助言を受けながら、三原市の日本語指導の充実・改善につながるご示唆をいただきたい。</p>				
派遣者からの指導助言内容	<p>1 日本語指導教室における基本的な考え方 高学年・中学校の外国人児童生徒は、何も知らない子ではなく、大きい小さいなどの概念等は理解しているため、遊びのような方法ではなく、教科に即した学習をする方が適切。 在籍教室で学習がともにできるように、そして、高校受験に向けた学習ができるように日本語指導を行う方がよい。</p> <p>2 日本語指導のテキスト選択方法等 日本語指導には、テキストを活用した学習が効果的である。宿題等を併用しながら、限られた授業時間を活用していくことが大切。</p> <p>3 外国人児童生徒への教育的配慮 外国人児童生徒とかわかるときに最も大切になることは、アイデンティティの確立(民族的自覚の基礎を培う)、学習参加ができる授業(日々の学習に繋がれるように</p>				

	<p>する。)である。母語ではない環境で学習する子供たちは定着していない言語の環境の中で学習をしていることに配慮をする必要がある。</p> <p>4 授業者に必要な技能</p> <p>日本語指導は日本語で指導すればよいため、多言語習得について不安を感じる必要はない。それより大切なことは、児童生徒に確実に力をつけるための指導である。</p> <p>5 授業形態・学習内容の設定</p> <p>日本語指導教室での授業形態や学習内容は、在籍学級とできるだけそろえる。ドリルばかりの学習ではなく、先行学習などを取り入れ、在籍学級に参加できるような授業形態・学習内容を取り入れる必要がある。</p> <p>6 母語に触れる機会の必要性</p> <p>母語の習得が日本語の習得につながっていくため、家庭では母語での会話を積極的に行う必要がある。母語の習得が図られなければ、日本語の習得は難しくなり、第一言語も、第二言語も定着しにくいダブルリミテッドバイリンガルになる可能性がある。</p> <p>7 サバイバル日本語の指導・具体的な学習内容について</p> <p>来日してすぐの子供は生活の中で困ることがある。そこで、カードなどを使って自分の思いを伝えられるような教具を使用することも考えられる。日本では当たり前の文化も外国との違いはたくさんある。日本語指導教室では、実態把握をした上で、指導に当たる必要がある。</p> <p>8 日本語指導教室の目標・ねらい</p> <p>日本語指導教室の目標は、できることを増やすことである。子供たちに自信をつけることが大切。そうすることで、最終的に支援がなくても日本語で暮らせる力をつけていくことにつながり、自分の足で歩めるようになる。</p>
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>今回の申込のきっかけであった日本語指導の目標、実態把握の方法、指導内容の整理、指導方法の充実など、的確に教えていただき、日本語指導教室の在り方について見直すことのできる大変有意義な研修となった。</p> <p>本研修後、校内研修を進めていく必要があるという声や、他の日本語指導の研修にも参加したいという声上がり、教員の意欲を大きく向上させる研修になった。</p> <p>また、他の学校の指導方法や指導内容について交流する機会や、日本語指導の授業公開等を設定できたことや、情報交換等もでき大変貴重な機会となった。日本語指導における数々の悩みを共有するとともに、講師から適切な助言をいただくことができたため、今後の指導の変化に意欲を高めることができた。</p> <p>今後、三原市でも今回の研修内容を整理し、この度研修を受けることができなかった教員にも情報提供を図り、市内の日本語指導教室の更なる指導力向上につなげていく。また、引き続きこのような研修の機会を確保するなどし、日本語指導の充実・改善を進めていく。</p>